

### 3×3+3分析

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> <li>扱う原文テキストのジャンルならでの語彙や表現がわかる。</li> <li>文章語特有の語彙や表現がわかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の新聞や雑誌、教科書等で中国についてどのように報道されているか、中国の文化や習慣はどのような媒体で日本にどう紹介されているかがわかる。</li> <li>日本の文化や習慣との違い、関係性がわかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本において中国に関するどのような情報が不足しているかがわかる。</li> <li>学習言語を使ってどのように社会貢献できるかを考え（ここでは日本における中国理解）、行動することの意義を認識する。</li> </ul>
できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国語で書かれた新聞や雑誌、WEB記事などを正確に日本語に翻訳できる。</li> <li>TPO に合わせた文体で翻訳することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本との共通性や相違性を分析した上で、必要な情報をわかりやすく翻訳できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新聞やインターネット等を用い、必要な情報の収集ができる。</li> <li>集めた情報/文章を分析し、情報の出所に注意して信用できるものを選定できる。</li> <li>自分たちの翻訳作品を公開する場所/方法を考え、関係機関と交渉し、許可を得ることができる。</li> <li>責任をもって自分の役割を果たし、グループで意見交換し協力して1つの作品にまとめることができる。</li> </ul>
つながる		<ul style="list-style-type: none"> <li>中国の文化や中国人のものの考え方などを身近な人々に伝え、中国理解を深めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国語を学習していない、あるいは中国に関心のない人たちにも、日本語で積極的に中国理解を広げ、深めることができる。</li> </ul>
三連携	<p>連携1（関心・意欲・態度）：自分の興味・関心に基づいて、単元目標達成のために適切な翻訳素材を選ぶ。</p> <p>連携2（既習内容・他教科）：前半に学んだ「翻訳のテクニック」を駆使し、翻訳のスキルアップを図るとともに、幅広い分野から翻訳素材を集める。</p> <p>連携3（教室外の人・もの・情報）：中国への興味・関心の有無を問わず、様々な場所でいろいろな世代の中国理解を深める。</p>		